

柿野住民協議会たより

柿野住民協議会

8月実施の

アンケート調査まとめ

会長 武藤 廣

年の瀬も押し迫りました。迎春の支度で、何かとお忙しいのではないのでしょうか。

地域を一番知っている私たち自身が「自ら地域を考え、出来る事からやるう」を合言葉とした柿野住民協議会も四年目を終えようとしています。

振り返ってみますと、会員皆様のご支援で「柿野住民協議会も軌道に乗りました」と言っても過言でもありません。

健康ウォーキング、防災訓練、棚田まつり、子どもたちを中心とした自転車点検花いっぱい運動、地区の草刈り等・・・実施してまいりました。

ご協力頂きました皆様に厚くお礼申し上げます。又、来年も何卒よろしくお願い申し上げます。

さて今号は、八月実施しましたアンケート調査がまとめ、その結果をお知らせ致します。

アンケートの目的は今年度策定をする「地域計画書」に、皆様のご意見等反映するために実施しました。配付されたアンケートは、

横野、横谷、深野全世帯を対象にして、

①ご家族で中学生以上の方、

②ご家族で相談しながら答えて下さい。

と、お願い致しました。

配布戸数、527戸、

提出して頂いた戸数、467戸

回収率、88.6%でした。

予想をはるかに超えた回収率でした。本当にありがとうございます。

詳しくは次ページで紹介をしますが記述のとおり、今年度中に策定する「柿野住民協議会・地域計画書」に、大いに反映したいと考えています。

前号でお知らせしていますが、改めて地域計画書とは、柿野地域の概況と、部会ごとの町づくりの目標を決めます。

この目標こそ、アンケートを回答して頂いた方の「思い」を抜粋します。目標に向かつて更なる努力をして参ります。

そして施策一覧表にまとめられるものですが主な、ご意見(要望)を抜粋します。

「施策一覧表」は

① 一年以内にすべき事

② 二～五年以内にすべき事

③ 五年以降にすべき事

④ 住民協議会たより等継続しすべき事

そこで、①②③④を、

◆住民協議会が出来る事

◆住民協議会と行政又、各種団体と協働で出来る事

◆行政が主としてやるべき事に分けるものです。この様な計画書を考えています。

新たな「柿野地域の姿」をまとめます。

地域計画書は、平成二十七年総会へ提出、承認後松阪市へ提出します。



配付するアンケート(案)審議する
委員の皆さん



アンケート結果を確認する、
委員の皆さん

柿野住民協議会アンケート調査「自治会別集計表」

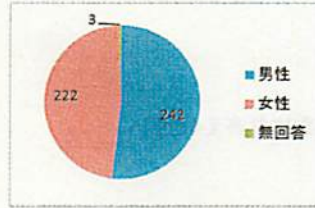
| | 自治会名 | 配布戸数 | 提出された戸数 | 回収率 | 備考 |
|----|-------|------|---------|-------|--------|
| 1 | 1番組 | 23 | 23 | 100 | |
| 2 | 2番組 | 26 | 26 | 100 | |
| 3 | 3番組 | 32 | 24 | 75 | |
| 4 | 4番組 | 27 | 26 | 96.3 | |
| 5 | 5番組 | 40 | 29 | 72.5 | |
| 6 | 6番組 | 30 | 32 | 106.7 | 複数回答あり |
| 7 | 7番組 | 15 | 10 | 66.7 | |
| 8 | 横谷 | 13 | 6 | 46.1 | |
| | 横野 小計 | 206 | 176 | 85.4 | |
| 9 | 東村 | 39 | 28 | 71.8 | |
| 10 | 中村 | 54 | 49 | 90.7 | |
| 11 | 中西 | 36 | 31 | 86.1 | |
| 12 | 大西 | 53 | 48 | 90.6 | |
| 13 | 長野 | 41 | 44 | 107.3 | 複数回答あり |
| 14 | 夏明 | 42 | 38 | 90.5 | |
| 15 | 鍛冶屋瀬 | 33 | 31 | 93.9 | |
| 16 | 神路山 | 23 | 22 | 95.7 | |
| | 深野 小計 | 321 | 291 | 90.7 | |
| | 総計 | 527 | 467 | 88.6 | |

「地域計画アンケート集計結果(柿野住民協議会)」集計表

問1 あなたの性別は?

- (1) 男性
- (2) 女性
- 無回答
- 計

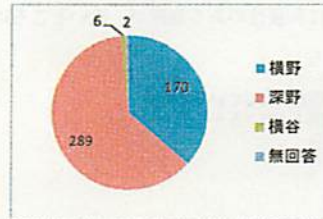
構成比
51.8%
47.5%
0.6%
100.0%



問2 あなたのお住まいは?

- (1) 横野
- (2) 深野
- (3) 横谷
- 無回答
- 計

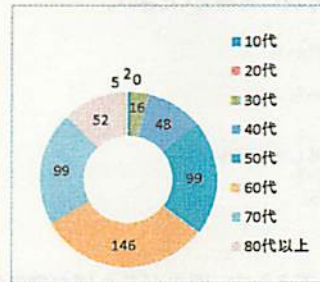
構成比
36.4%
61.9%
1.3%
0.4%
100.0%



問3 あなたの年齢世代は?

- (1) 10代
- (2) 20代
- (3) 30代
- (4) 40代
- (5) 50代
- (6) 60代
- (7) 70代
- (8) 80代以上
- 無回答
- 計

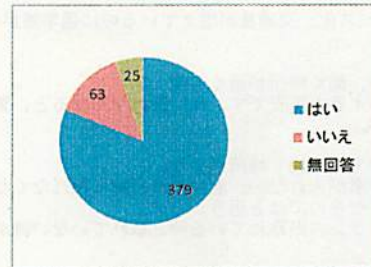
構成比
0.4%
0.0%
3.4%
10.3%
21.2%
31.3%
21.2%
11.1%
1.1%
100.0%



問4 あなたは、「柿野住民協議会」を知っていますか?

- (1) はい
- (2) いいえ
- 無回答
- 計

構成比
81.2%
13.5%
5.4%
100.0%



解析

問4では、4年目を迎えた住民協議会も徐々に会員皆様にご理解を頂いていますが、「いいえ」と、答えた方が13.5%を示しています。もっとPRして参ります。

問5 あなたのご職業は?

- (1) 会社員
- (2) 自営業
- (3) 農林業
- (4) 公務員・団体職員
- (5) 学生
- (6) 家事専業
- (7) アルバイト・パート
- (8) 無職
- 無回答
- 計

構成比
16.3%
12.0%
6.2%
4.3%
0.4%
11.8%
16.1%
31.5%
1.5%
100.0%

問6 問5で「1. 会社員」と答えた方の勤務地はどこですか?

- (1) 飯南町内
- (2) 松阪市内
- (3) 松阪市外
- 無回答
- 計

構成比
22.4%
57.9%
18.4%
1.3%
100.0%

問7 あなたの住んで見えるところは好きですか？

- (1) はい
- (2) いいえ
- (3) どちらでもない
- 無回答
- 計

問8-1 問7で「はい」と答えた方次にお答えください。

- (1) 通勤・通学に便利だから
- (2) 働く場所が近いから
- (3) 自然環境が恵まれているから
- (4) 金融機関、コンビニ等生活に利便性のある施設が、近いところにあるから
- (5) 病院又、福祉施設があるから
- (6) 近所付き合いが出来やすいから
- (7) 県道、市道、農道、林道が整備されているから
- (8) 保育所等、子育て環境が充実しているから
- (9) 教育環境が充実しているから
- (10) 防犯・防災の面で安心だから
- 無回答
- 計

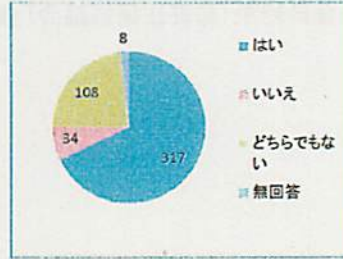
問8-2 問7で「いいえ」と答えた方次にお答えください。

- (1) 通勤・通学・買い物に不便だから
- (2) 働く場所がないから
- (3) 公共施設、娯楽施設がないから
- (4) 病院が遠いから
- (5) 近所付き合いが難しいから
- (6) 保育所等、子育て環境が充実していないから
- (7) 教育環境が充実していないから
- (8) 防犯・防災の面で不安だから
- 無回答
- 計

問8-3 問7で「どちらでもない」と答えた方、理由があればお書きください。

- 1 病院が遠いから。
- 2 166号線の街中のバイパス化。交通量が増えているのに通学路がない。騒音もすごい。
- 3 長く住んでいるから。
- 4 自然に恵まれているが、働く場所が遠く不便
- 5 好きですが、老後を考えると不安です。車に乗れなくなると、買い物も不自由になります。
- 6 特になし
- 7 環境的にはいい所なのですが働く場所が少ない。
- 8 道が狭くて家の前まで車が入れない。高齢のため車に乗れなくなったらどこへもいけなくなるのではと思う。
- 9 自然環境と利便性のバランスが取れている時と取れていない時があると思います。
- 10 不便だから
- 11 野獣との共存がづらい。
- 12 家から通える学校、会社等が少ないため、若い世代が生活するのは難しい。若い世代の負担が多すぎる。(都会の方が気楽に生活できる。)
- 13 不満がありすぎてこの枠ではおさまらない。
- 14 過疎、高齢化が進んでいる。将来が不安。
- 15 どんな事でも一長一短、すべて良いもの悪いものはない。まあまあ普通というところ。
- 16 生まれ育ったところだから
- 17 どちらでもないというよりは、好きだけど困っている所があるという事です。自然環境に恵まれていていいのですが、獣(さる、いのしし、しか)などの害がひどくなっています。
- 18 自然環境に恵まれているが、病院、就職先とかが不便である。
- 19 病院、買い物等不便さをやはり感じる。
- 20 先祖様が住んでいたため
- 21 子どもが小さい間はのんびりとして育てる環境は良いが成長するにつれて教育環境が市内と比べ劣っているのが可哀想に思う。あと獣害にも困っている。
- 22 嫁いで40数年が経ちましたが色々な事がありました。大変環境も良く景色も良い所ですがやはり好きになれません。かなり封建的な部分が残っている様に思います。雰囲気ですが。
- 23 冬の坂道が不便
- 24 近所付き合いが、いい時もあれば、うっとうしい時がある。通勤・通学の面で、近い所へ行く時はいいが、遠い所だと時間がかかって
- 25 自然は好きだけど、不便な所
- 26 公共交通機関がなく、不便(少ない)。自然豊かな棚田は美しいけれど、その分、道路の見通しが悪く、災害(土砂)の不安が常にある。

構成比
67.9%
7.3%
23.1%
1.7%
100.0%



解析

問7では、「はい」が67.9%示しました。

やはり、飯南の恵まれた自然環境と、田舎ならではの、近所付き合いが大きな要因になっている様です。一方、どちらでもないが、23.1%示しており住民協議会として、少しでも「はい」と、答ええられる様な、町づくりが必要と考えられます。

構成比
3.5%
4.3%
40.9%
7.0%
3.0%
25.4%
3.5%
2.6%
1.0%
8.3%
0.5%
100.0%

構成比
28.7%
13.8%
11.5%
25.3%
4.6%
2.3%
1.1%
11.5%
1.1%
100.0%

解析

問8-3では、寄せられましたご意見原文で掲載しています。

(男性、70代)
(男性、60代)
(男性、80代以上)
(男性、50代)
(女性、50代)
(女性、40代)
(女性、40代)
(男性、80代以上)
(女性、70代)
(女性、30代)
(男性、80代以上)
(女性、40代)
(男性、50代)
(男性、50代)
(男性、80代以上)
(男性、60代)
(女性、50代)
(女性、50代)
(男性、60代)
(男性、60代)
(男性、80代以上)
(女性、50代)
(女性、60代)
(男性、60代)
(女性、50代)
(男性、50代)
(男性、50代)

- 27 自然の多い環境は良いし、近所とのつきあひも温かいものがあるが、通勤や通学に時間もかかり、不便である。仕事場も少なく、若者が市外・県外へと、出ていくのも残念。(女性、50代)
- 28 自然環境に恵まれているが、病院・スーパー等が遠く、車社会に頼らざるを得ない。今後70～80代になると、心配である。(男性、60代)
- 29 自然環境や防犯面が良いが、買物等に不便。病院が遠い。働く場所が少ない等。どちらかと言えば、好き・・・(男性、60代)
- 30 利便性が悪いが、のどかな環境にある。(男性、50代)
- 31 若い人が減少、子どもも少なくなり、淋しいので。(女性、50代)
- 32 公共施設、娯楽施設が遠い。(女性、60代)
- 33 子どもの幼少期は、自然環境に恵まれ、地域の環境も良かったが、成長と共に通学に不便さを感じられるようになった、将来病院等へ通院するにも車の運転ができなくなったとき不便さ感じると思う。(女性、40代)

問9 あなたは、普段「あいさつ」を心がけていますか？

- (1) はい
- (2) いいえ
- (3) 相手がしたらする
- 無回答
- 計

構成比
89.9%
0.4%
3.6%
6.0%
100.0%



問10 重要であると思われる「町づくりテーマ」を3つまでお選びください。

- (1) 夢のある柿野、住んでいて楽しい柿野、いつまでも住みたい柿野の町づくり 10.0%
- (2) 住民が主役となる町づくり 2.5%
- (3) 子どもから老人まで楽しめる町づくり 7.7%
- (4) 誰もが気軽にスポーツを楽しめ、参加・交流が出来る町づくり 1.1%
- (5) 交通事故のない安全な明るい町づくり 6.0%
- (6) みんなが助けあって農地の荒廃を守る町づくり 5.8%
- (7) 農地を獣害から守る町づくり 7.0%
- (8) 福祉が充実して健康で安心して暮らせる町づくり 11.6%
- (9) 地域の美しさと花いっぱい運動の町づくり 1.1%
- (10) 福祉が充実して安心・安全で住みよい町づくり 9.0%
- (11) 徹底した自主防災・防犯確立の町づくり 2.7%
- (12) 各種イベントを通じて交流する町づくり 1.0%
- (13) 恵まれた環境を守る町づくり 4.8%
- (14) ごみのない美しい地域の町づくり 3.5%
- (15) 自然に触れ合う町づくり 2.2%
- (16) 歴史深い棚田、深野和紙、松阪牛を学ぶ町づくり 1.7%
- (17) 子どもから老人まで福祉教育を学ぶ町づくり 0.7%
- (18) 元気な子どもを育む町づくり 4.8%
- (19) 笑顔と緑あふれる町づくり 3.1%
- (20) みんなでつくる協働の町づくり 0.9%
- (21) 元気で健やかに自分らしく暮らせる町づくり 9.6%
- 無回答 3.1%
- 計 100.0%

構成比
10.0%

解析

問9では、「はい」が、89.9%示しました。あいさつは、人と人との絆です。住民協議会も「あいさつ」を重要事業としています。

問10では、「町づくりテーマ」を選んで頂きました。部会毎に目標テーマとして決め、目標を目指し町づくりに取り組んで行きます。

問10-1 他、あなた自身で「町づくりテーマ」があれば、ご提案ください。

- 1 住民協議会は、ボランティアが、基本精神だと思う。ボランティアの大切さを講義、講演して頂く機会を作る。(男性、30代)
- 2 交通手段のない人とかお年寄りが必要な物をスムーズに入手できるシステムがあれば良いと思います。(女性、70代)
- 3 高齢化が進み、子供たちが少なくなっています。移住者を受け入れ新しい面白い柿野の町になっていったらいいと思います。(女性、50代)
- 4 めだか、いもり、ほたるなどが住める自然環境を守っていく。(女性、50代)
- 5 ②に関して、各自の得意の分野を出し合い集約してさらに伸ばしていく。(男性、60代)
- 6 この町で生まれ育った子ども達の転出を減らし逆にUターン者が増える環境作り。(男性、50代)
- 7 防犯確立について、田舎でも不法侵入暴力が最近多くなっていたので防犯カメラの設置を望みます。警察は確実な証拠がなければ立件しないので犯人の見方につきます。(男性、60代)
- 8 老若、誰に会っても挨拶の出来る明るい町づくりを。(男性、70代)
- 9 思いやりといたわりの心のある町づくり。(女性、70代)
- 10 老人に優しい町づくり。(女性、50代)
- 11 安全な町づくり。(男性、60代)
- 12 使われていない山林を、雑木林の山に変える。(男性、40代)
- 13 若者が戻ってくる、活気あふれる町づくり。(女性、40代)
- 14 犯罪の無い、安心して暮らせる町。(男性、50代)
- 15 地域の特徴が強調される町づくり。(男性、50代)
- 16 この頃は、車社会で、一人一人の会話が無いので、できる限り、話のできる事を教えてほしい。(男性、80代以上)
- 17 雇用がある町づくり。(男性、60代)
- 18 他地区からの移住者等受け入れたりもっと人口増やす工夫が必要。(女性、40代)

解析

問10-1では、ご意見、テーマ合わせて20点寄せて頂きました。

20点の中からも部会毎の目標テーマを

抽出して目標を目指し取り組んで行きます。

- 19 動物が出てこないように草刈り(空き地、道路脇等)を、業者で定期的
にやってもらいたいです、高齢化しているのでよろしくお願いします。(女性、50代)
- 20 子どもに優しい町 (男性、40代)

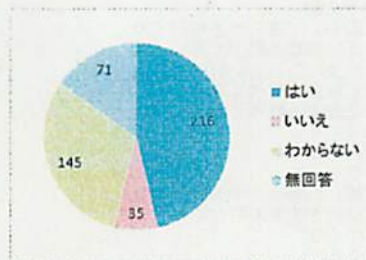
問11 期待を寄せる事業を3つまでお選びください。

| 事業内容 | 構成比 |
|----------------------------|--------|
| (1) 健康ウォーキングの開催 | 4.9% |
| (2) 棚田まつりの開催 | 6.8% |
| (3) 健康づくり、体力づくりの開催 | 6.2% |
| (4) 子どもと大人の交流の場(世代間交流)の開催 | 4.5% |
| (5) 交通安全指導の開催 | 1.8% |
| (6) 防災訓練の実施 | 4.1% |
| (7) 防災講演会の開催 | 1.1% |
| (8) 子どもを中心とした自転車点検の実施 | 0.8% |
| (9) 子どもたち、高齢者への声かけ運動の実施 | 9.3% |
| (10) 住民協議会たより(年2回)発行 | 1.2% |
| (11) 掲示板、防犯灯の充実 | 6.6% |
| (12) 健康講座の開催(講演会、料理教室、運動等) | 2.5% |
| (13) 草刈り(地域内清掃活動)等の実施 | 4.8% |
| (14) 認知症サポーター養成講座の開催 | 1.6% |
| (15) 観光看板設置 | 0.7% |
| (16) 柿野地域の歴史を学ぶ講座の開催 | 1.5% |
| (17) ごみを道路、川、山等に捨てないPRの実施 | 7.6% |
| (18) 非常時に備えた、防災マップの発行 | 6.2% |
| (19) 観光マップの発行 | 1.2% |
| (20) 花いっぱい運動の実施 | 3.8% |
| (21) 地域と子どもたちの紙漉き体験の実施 | 0.4% |
| (22) 荒廃農地の対策の実施 | 9.4% |
| (23) 子どもたちの健全育成活動の推進 | 7.4% |
| 無回答 | 5.3% |
| 計 | 100.0% |

解析
問11では、柿野住民協議会が、4年間開催した
行事又、事業の実施を選んで頂きました。
参考にしながら今後、皆様を楽しみ、喜んで
頂く行事、事業を実施して行きます。

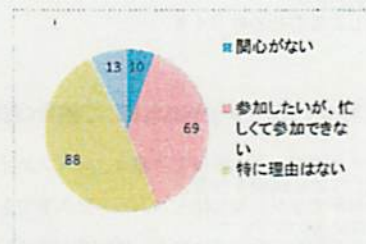
問12 問11で、お示しました事業に、あなたは、参加したいと思いますか？

| 回答 | 構成比 |
|-----------|--------|
| (1) はい | 46.3% |
| (2) いいえ | 7.5% |
| (3) わからない | 31.0% |
| 無回答 | 15.2% |
| 計 | 100.0% |



問13 問12で、2いいえ、3わからないと、答えた方にお聞きします。

| 理由 | 構成比 |
|-----------------------|--------|
| (1) 関心がない | 5.6% |
| (2) 参加したいが、忙しくて参加できない | 38.3% |
| (3) 特に理由はない | 48.9% |
| 無回答 | 7.2% |
| 計 | 100.0% |



問14 問11の他、あなた自身が「住民協議会でやってみたらいいなあ〜」と、思う事業があればご提案下さい。

- 1 餅つき大会なんかどうでしょう？皆が(子どもから大人まで)楽しめるイベント。(男性、40代)
- 2 土日に子どもを遊ばせる室内、室外の施設がない。茶舎も遊具が少なく遊びに連れて行こうと言う気持ちになれず、どうしても松阪市外の施設に行くことも多い。よって公共施設の開放等があれば助かる。(女性 50代)

解析
問14では、問11の他、多岐に渡って
事業の提案を頂きました。大いに取り
入れて行きます。又、地域計画書の施
策一覧表に、反映したいと思います。

- 3 「日帰り旅行」は無理でしょうか？家族で参加できる様なツアーで、地域の人たちとの絆が深まるのでは、ないでしょうか？費用は、有償でも団体割引や多少の助成があれば、そう高額にはならないのではないですか？個人での旅行より気軽に行く事ができる様に思いますが・・・ (女性、60代)
- 4 「健康のためのハイキングコースの整備」 (無回答、60代)
理由
各地には、ハイキングが出来る場所があり子どもを連れて土・日に訪れている。
横野区には、そういう場所がなく整備をお願いしたい。
場所は、(ハイキングコース)、総合文化センター⇒行者山⇒せんげい山
※せんげい山の山頂は360度視界がきき、眺めが素晴らしい。
5 深野、横野と別れて事業活動をするのではなく、出来る事業から積極的に一本化し、活動すべき、そのことで、もっと深野、横野の絆が取れ、コミュニケーションが、とれるのでは・・・ (男性、30代)
- 6 夏祭り等の時、朝見地区は、活発に地元住民が夜店等を出してにぎわっています。柿野の祭りである紙屋祭のとき、有志が店を構える姿が見られないのは、とても残念な事だと思います。 (女性、50代)
- 7 □子どもの通園通学路の危険マップをつくる。 (女性、30代)
(ガードレールがない、どぶの蓋がない、不審者が出た等)
1. 商工会前のデコボコの道路(駐車場ではなく)の整備は出来ないか？
2. 旧武蔵兵衛店直ぐ横の谷に蓋がないのは、どうにか出来ないか？
3. 柿野神社～ひまわり保育園前あたりまで車がスピード出し過ぎて「コワイ」と、音声を近所で良く聞きます。看板設置、道路にスピード出せない様に、でっぱりを付けられないか？
□子どものための広場(公園)が、作れないか？
□お年よりの買い物に困るため、雑貨等もあるお店を誘致出来ないか？など
- 8 問15. 住宅地以外の側溝の清掃、草刈など。 (男性、60代)
- 9 棚田祭りで栗山子(かかし)コンテスト。 (男性、60代)
- 10 危険を伴うので難しいかもしれませんが、柿野地区に寄り添って流れている棚田川でのイベント、鮎つかみや、松阪牛の生まれ育った街ということで、松阪牛のバーベキュー(昔茶倉でしていたみたい)とかはどうでしょうか。 (女性、40代)
- 11 柿野住民協会のシンボルマーク、イメージキャラクターのコンペ (男性、60代)
- 12 飯南町産業文化センターにおいて音楽コンサートの開催(特にジャズ)など。 (男性、60代)
- 13 年金生活者の方や農業野菜の栽培や耕作に秀でた方で組織し放棄農地探者から一定期で、管理し無農薬栽培や販売、又ブログなどを発信して、他府県からの農業体験や田畑の耕作希望者の田畑の貸出や施設の貸与、育生のフォローなどで農業を中心とした組織を作り収支をだしていけるような、農業の衰退の歯止めをかけるような組織を作って欲しい。 (男性、50代)
- 14 深野柿野だけの町民運動会 (女性、60代)
- 15 棚田の花火 (男性、50代)
- 16 不審者不審車両が夜中3時前後に出会うことがありますので、車種、色、ナンバー等の覚える控えるよう看板、回覧等で徹底してほしい。 (男性、60代)
- 17 国道166号線深野バス停の三叉路に大石方面からの右折れゾーン(カラーでペイント)を作って欲しい。 (男性、70代)
獣害(狼)から守る名案、妙案はないのですが、又地域の取り組みについて知りたい。
- 18 朝市の野菜など販売を共に手づくりで高齢者が作る事が出来ない人達が買いやすい店を、お安く作って販売してみたらどうでしょう (女性、70代)
- 19 地域で高齢者が集まる場所づくり (女性、60代)
高齢者、子どもとの交流の場所づくり(年齢を問わず)
働ける高齢者の仕事づくりー環境整備(山や休んで荒れている田、畑づくり)
- 20 移住者等の受入れの活動、PRはいかがでしょうか。空き家や、荒廃農地を活用し、外部からの受け入れを推進する。また、一時的でもいいので、農業体験など、外部の方からの、興味を持ってもらい、柿野の活性化につなげる。(30代女性、帰省中) (女性、50代)
- 21 Q11の回答した3つを、複合した事業を検討してみてもどうでしょうか？(JA等を巻き込んで) (男性、40代)
- 22 農家のPR、訪問、草刈体験 (男性、50代)
- 23 企業誘致活動 (男性、60代)
空き家をなくす活動
- 24 道路、川には家庭ごみ(ペットボトル、缶、ビニール類、また肥料の空き袋等)が非常に多く散見され臭いが損なわれています。故意に捨てなくても風で吹き飛ばされて来るのも多い。市で呼びかけている一斉清掃のほかにも年2～3回清掃を実施したらどうだろうか。若い人たちは休日でもなかなかいろいろとあって余裕がない、反面いくらでも働ける高齢者は大勢います。高齢者中心にできる範囲で良いので自宅付近だけでも楽しくする活動が定着すればいいなと思っています。1日限りとせず土、日の二日間とか1週間のうちとかにすれば動きやすいと思います。 (男性、80代以上)

問14では、寄せられましたご意見原文で掲載しています。

問15 柿野住民協議会へのご意見等があればお書きください。(日常生活でお困りの事(課題)があればお聞かせ下さい。どんな事でも結構です。)

- 1 鹿対策の柵をみんなで協力して付けると良いと思う。(男性、60代)
川が氾濫しているので清掃活動をするべきです。
- 2 ○小学校のプールを開放して、各自の責任においてお盆とか、休みに開放したら行けないのか。夏休み前半だけしか使わないから、川は泳げないし、親だけでは順番で回っても前半だけで終わってしまう。住民協議会のお力で何とかありませんか？(女性、60代)
- 3 ゴミ、草などの野焼きで洗濯物に臭いが付く。窓を開けられないので野焼き禁止を徹底して欲しい。(男性、30代)
- 4 野菜作りを楽しみにしているのですが、猿やら鹿等に荒らされて困っています。また、通学路にも猿が出るので、子ども達にも危険です。何か良い対策を考えてください。(女性、60代)
- 5 作物の獣害に困っています。(男性、70代)
- 6 車、二輪車の騒音。道路が狭く(通学路がない)、安心して歩けない(老人等)。(男性、60代)
- 7 1. 言葉づかい道徳心、礼儀作法、奉仕の精神等幼い頃より各家庭、両親、祖父母等子どもたちを取り巻く大人が、お手本を示して自然に身に付けさせる。
2. 老人や病人に気遣いをする慈愛の心。大人がお手本を示せば子どもは習うと思います。
3. 植木や雑草で道路が落葉や木の葉で汚れ、溝が詰まる等自分の家の周囲で汚れていても掃除もしない。キツイ仕事、汚い仕事等も大人と一緒に子供達に手伝いをさせて、キレイにすれば気持ちも良くなり、褒められる喜び、いい事をした時の気持ちの良さ、喜んでいただけることの嬉しさを大人とともに体験させる事等自己中心的な考え方を少しでも失くすことによって子ども達も成長すると思います。
4. 各家庭で恥ずかしいこと、迷惑をかけることはしてはいけないと、大人が子供のお手本となる生活習慣をする努力をしなければ、いい社会にならないと思います。まず家庭から始めて地域へと一歩一歩の積み重ね、大人の意識を向上させることこそ大切だと思います。
5. お子様は社会の宝です。宝物だからこそ大人が大切に育てなければなりません。素晴らしい大人となってほしいと願っています。(女性、70代)
- 8 要介護支援者1,2については、今後各自治体に移管されると聞いています。(男性、80代以上)
介護者を減らすためには、高齢者の健康維持、健康年齢を上げて等の必要になると思われる。財政の厳しい折柄、従来の年2~3回程度の健康づくり講座にとどめず、週単位で福祉の盛産を生かすインストラクターを常駐させ、適正な体調管理ができる様な体調管理ができる様な体制づくりはどうかと考えます。長い目で見れば財政面でも、+になると考えます。事実、実績を上げている自治体の報告も聞いております。
- 9 今後、70代くらいになった時の(車に乗れなくなった時)買い物などの移動方法が心配。現在、猿、鹿の獣害に困っている。(女性、50代)
- 10 獣害には困っている。(男性、60代)
- 11 猿が庭や畑に現れることがあります。(女性、70代)
- 12 日頃は柿野住民協議会の事業計画に参画していただいていること大変嬉しく思っているところですが、一点だけ追加させていただきたく。道路状況を見ても決して整備されている状況ではないように思われます。我々の通る道はご覧のように、歩道は草だらけ、ゴミだらけのように見えてなりません。出来ることから始めよう！を合言葉に皆で丸となり美化運動に努めようではありませんか。行政との兼ね合いもあろうかと思われませんが是非御計画に上げていただきたく申し添えます。(女性、70代)
- 13 住民自身が住みよい町づくりに積極的に参加する「住民協議会」の趣旨には賛同するものであるが、本来行政が税金を使ってやるべき仕事と住民自らのやるべき仕事の整理ができないまま行事計画が策定されたり、行政の下請け的な仕事を押し付けられたりする。現状の運営には大きな疑問を感じる。柿野住民協議会の問題ではなく松阪市政の問題として根本的な見通しがなされるべきである。(男性、60代)
- 14 道が安全に通れる様にしてほしい。川の堤防を直さないと台風の時危険。(男性、60代)
- 15 店やアパートなど増やして子育てをする環境を良くしてほしい。買い物も往復1時間かかるし食べに行くところも少ない。若い人が住みそうなアパートもない。どんなイベントをしても観光地になるだけで定住してくれる人が減っていけば環境整備もおそろそかにされ同じ税金を払っていても柿野中川地区や三益地区の発展に使われているように思ってしまう。もっと若い人が戻ってきてくれるような住みやすい街、子供の声が沢山聞こえる街、活気のある街にしてほしいです。(女性、40代)
- 16 柿野住民協議会が、さらに、一般住民と輪を広げられます様に！(男性、60代)
- 17 深野地内に美しい(清潔)建物の何でもそろっているスーパーマーケット的な買い物が楽に出来る所があればいいなあと思っています。(女性、70代)
- 18 執行部への女性の登用を・・・。(男性、60代)

解析

問15でも、多くのご意見を寄せて頂きました。

特に、日常生活にお困りのご意見が多く、行政と合わせて考え、安心・安全に暮らして頂く様に努力して参ります。

問15では、寄せられましたご意見原文で掲載しています。

- 19 年々高齢化されていく町としての対策は？ (女性、70代)
- 20 柿野地区を見た時に特に深野区において、荒廃農地が目立ち数十年前には見られなかった住宅地近辺まで獣害がおよんできている。荒廃地が増えると害虫、獣が住みつく状況にあり農地への被害が増加している。松阪、多気地区のような鉄柵が盛えられれば良いが体割上直ぐにかかれぬ状況により、まずは荒廃地を減らすことも重要と思われる。所有者が居住している所は自己責任で対応すべきであるが、他県等に居住のため管理ができない所を把握し、少しでも環境整備の意味からも協議会でも対応を検討願いたい。 (男性、50代)
- 21 次世代の人が町内に残る方を考慮してください。 (残りやすい) (男性、60代)
- 22 ・最近田舎も犯罪、放火、不法侵入等の被害がおこっており、容疑者は完全な証拠をのこさなければ仮に警察に連行されても10分位で始末書を書いて出てくると聞いてます。確実な足跡、証拠をとるために防犯カメラを設置を望みたい。
・日本の警察は事件が発生しないと動かないので犯罪は減りません。
・夜中のパトロールをして欲しい。
・40代～50代の男性の引きこもりの人の犯罪が増えてきている。全国的にみても地元住民でパトロール隊を作るべきである。
・山の中へ被害者を遺棄する事件もあり防犯カメラの設置は最優先であろう。 (女性、80代以上)
- 23 薬ばかりにたよらず患者の話を聞いてくれるような信頼できるかかりつけ医が欲しい。
※歯医者には恵まれていて何でも相談できている。(黒井歯科) (男性、60代)
- 24 別にございませんが今後の町づくりに対し柿野住民協議会及び益々の反映を期待します。 (女性、50代)
- 25 荒廃した空き家が増えている。草がぼうぼうで壊れかけても放置したままの状態。風の強い日や台風の時など物が飛んできたり雨水が流れ込んできたりして困っている。家主にお願いしてもなかなか改善されない。どこに相談に行けばいいかわからない。 (男性、80代以上)
- 26 私達30歳過ぎた二人ですが少しの畑ですが農作業に頑張っています。年をとるにつれ仕事が出来なくなり畑は荒れてきますその時はどうしたらよいか困っております。 (男性、60代)
- 27 中村集会所のそばの道路にガードパイプを設置したほうが良いように思いますが。 (男性、50代)
- 28 過疎化を防ぐ対策が必要ではないかと考えます。 (女性、80代以上)
- 29 ゴミ置き場が途すぎる。畑を荒らされて困る。 (女性、60代)
- 30 高齢化で自分の土地の管理が出来ない。
かと言って簡単に「売買」はできない。
充実した移動スーパー(清潔、新鮮)をお願いしたい、今は車に乗れるが近い将来それもできなくなるので年金だけの生活に不安を感じる。 (男性、70代)
- 31 近所の家が住む人がいなくなると(植木、雑草、建物等)困っています。なんとかならないですか。 (女性、80代以上)
- 32 雑草が畑を荒らすのでみんな困っています。何とかならないのでしょうか。 (男性、60代)
- 33 期待しない (女性、70代)
- 34 高齢者が益々多くなって施設や病院が受入れてくれないようになってきていますので、何とか深野町の町で知った人達と最後まで一緒に共に生活出来る所であればいいなあーと思います。空き家を利用して出来ないものでしょうか。人々の特技を生かして出来る事から。 (女性、60代)
- 35 廃家が多くなって放置されている。 (男性、60代)
- 36 街灯をすべてLEDにして欲しい (男性、40代)
- 37 深野支部にも、女性の役員さんを、3分の1ぐらい、入ってもらいたい。 (女性、40代)
- 38 今は母が中心に百姓してくれています。世代交代し、この先、仕事をしながら、沢山の田畑を守っていけるか不安です。 (男性、60代)
- 39 1.若い世代と一緒にになって、盛り上げてほしい。年配の方だけで盛り上げて、10年以上も続かない。お金も力も無いが、見守る事は出来る。(批判はしない)
2.70代以上は組などの役職から引退させて頂きたい。体力の心配もあり、かえって役員さん方に迷惑をお掛けします。(人足の順番が回ってきたら、70代以上の家は、出不足代として、半日3,000円、1日5,000円の負担にて、次の順番にしてはどうですか?) (男性、50代)
- 40 柿野住民協議会の活動実体が解りづらい、説明の機会を設けては？ (男性、50代)
- 41 畑田まつりは組単位で行う。毎年代わり、メインの組が、他組はお手伝いする。「畑田食堂」をする。食材は地元限定。スタッフは地元の人。チームを組み、まずは、よそのイベントに出店する。 (男性、60代)
- 42 住民協議会がアンケート 問10、11のよう事項に取り組んで頂けるなら区会が必要ないと思う そうすることにより区費も安くなり住民にも喜んでいただけたらと思います (男性、10代)
- 43 迅速な対応をしてほしい (女性、40代)
- 44 高齢者が益々多くなります。何か行事があっても参加できない現実があります。この問題は永遠に続くと思いますが何とか皆が健やかに暮らせる深野柿野地区であってほしいです。 (男性、60代)
- 45 2年前から畑田まつりしているが、それよりも獣害対策や、地域内の清掃活動に使ってほしい。 (男性、50代)
- 46 人数揃える為に地域役員が強制的に参加しなくてはならない活動は困る。 (女性、60代)
- 47 獣害について困っています。鹿も民家の近くまで来るので何とかならないでしょうか。

☆深野支部の町づくり

三年目の『深野棚田まつり』

好天に恵まれ

盛大に開催される

棚田まつり実行委員

馬場 優

もうこれ以上は望めないであろう素晴らしい秋晴れに恵まれ十月二十五日(土)午後四時三十分、西の空を茜色に染めて夕日が沈むと間もなく三千個の行燈に火が灯され棚田一面はローソクの幻想的な明かりに映し出され、更に一角に今年新しく作成したペトポトル行燈三百二十個を使って描いた『フカノ棚田まつり』の行燈文字が、浮かび上がり訪れた大勢のお客様に感動与えました。

特に今年は、千七百個の竹行燈に加え新しく一千三百個のペトポトル行燈を新規作成、会場内の通路をほとんどよりシヤトルバス乗降場所の棚田駐車場から会場までの通路を照らし出した。

イベント会場では、午後四時三十分に行燈の点灯式が行われその後、お招きしたMMF(松阪・ミュージック・ファクトリー)のライブに始まり、飯南バンド(ウィンズ)の演奏が棚田に響きわたり感動に包まれました。

更に、柿野小学校全児童作によるペトポトル行燈コンテストも開催。行燈に火が灯ると児童が思い思いに描いた、絵柄が浮かび上がり華やかな雰囲気になりました。訪れた観客の皆さんに気に入

った絵柄の番号を投票して頂き上位三名に後日、賞品を授与しました。

イベント会場周辺のおもてなしコーナーでは棚田米のおにぎりや地元野菜たっぷりの棚田まつり特性『未来汁』が、そして杵つきお餅が、振る舞われました。

又、物産市会場では、棚田周辺で採れた農産物の販売、五平餅、焼きそば、焼き芋の屋台も出店、特設ステージでは、中世古実香ミニコンサートも開催、大盛況でした。

当日棚田まつりにお越し頂いた松阪市内の女性から夕刊三重にこんな寄稿をされました。

「棚田にローソクの幻想的な明かりが灯りその景色には思わず絶句しました。時を忘れてゆっくりゆっくり時計が回っているような別世界でした。預けていた特産物販売で買ったものを受け取り家に帰り楽しく素晴らしい一日の余韻に浸かりながら荷物を片付けていて、買ったはずの白菜が無いのに気づきました。確かめずに置いてきてしまった自分に「年だよな。諦めな」と独り言、ちよっぴり残念な気持ちです。来年も元気があれば行きたいです。深野地区の皆さんありがとうございました。」この記事を見た棚田まつり実行委員長は、忘れられた白菜をお届けするため、夕刊三重に寄稿者のお住まいを教えてください無事白菜をお届けし、更にその時買われた棚田米が美味しくと、更なるご注文まで頂き、御用意したお米を取りに来られたそうです。

後日、届いたお手紙には、「感動の棚田まつりに自分のうっかりミスが皆様の温かいお心で新しいつながりが生まれた事に感謝いたします」と綴られていました。このつながりを大事にする事が本当のおもてなしの心なのでしょう。

最後に「棚田まつり」携わって頂きました皆様には厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。



健康管理体操を開催

六月二十二日 (日) 午前九時三十分から飯南体育センターにおいて、園児から高齢者まで沢山の方のご参加をいただき健康管理体操を開催いたしました。

まず始めに、稲葉横野支部長の挨拶の後、スポーツクラブMAX所属の竹田先生、吉田先生のご指導のもと、茶々丸体操、ボールやスクエアーステップマットを利用した楽しい体操を行ない、参加者全員心地の良い汗をかきました。

体操をするに当たっては、中村様、岡様（第三地域包括支援センター）が準備・補助をしていただきました。お二人ともお忙しい中ご協力を頂き、大変ありがたく深く感謝を申し上げます。

健康づくりの基本は、食生活と適度な運動にあると言われております。

少しでも体を動かす機会を持つていただければと次年度も健康管理体操を計画したいと思っておりますので、沢山の方の参加をよろしくお願い申し上げます。



子どもを対象とした自転車点検と自転車交通安全教室を開催

六月二十九日 (日) 午前九時より飯南体育センター前において、山本輪店 山本喜信様にも子どもたちが乗っている自転車の点検（適正なタイヤの空気圧、ムシゴムの交換、ブレーキの利き具合等）と子どもたちにも出来る点検箇所・点検方法を教えていただきました。

その後、とまとーずの青木様と加藤様をお迎えし、交通安全教室を開催しました。

飯南体育センター周辺の道路を使用して正しい自転車の乗り方についてご指導を受けました。

その後、とまとーず交通安全クイズ（下記のとおり）が出され、子どもたちは真剣に考え回答をしていました。

自転車の乗り方について考える良い機会になったことと思います。



とまとーず交通安全クイズ！

○ ×で答えてね

- | | |
|-----------------------|---------|
| 1 おしゃべりしながら、並んで走った。 | < ○ × > |
| 2 友だちを後ろに乗せて、家まで送った。 | < ○ × > |
| 3 友達と自転車で競争した。 | < ○ × > |
| 4 自転車は自動車と同じ仲間だ。 | < ○ × > |
| 5 子供は、ヘルメットをかぶらなくてよい。 | < ○ × > |

クイズに答えてね

- | |
|---|
| 6 道路を渡ろうとしたら青信号がピカピカしています。どうすれば良い？ (答え:) |
| 7 信号の無い横断歩道を渡る時に注意することは何？ (答え:) |
| 8 道路を渡りたいときはどうしますか？ (答え:) |
| 9 道路の反対側から友達に呼ばれて道路を渡るときどうしますか？ (答え:) |
| 10 歩道のない道路を歩くときはどうしたら良いですか？ (答え:) |





柿野住民協議会からのお知らせ

←柚子です

● 毎月十一日の買い物は、マックスバリュ大石店でどうぞ・

毎月十一日買い物物しますと黄色いレシートを受け取ります。そのレシートをレジ付近(写真)の「柿野住民協議会」のケースへ入れて下さい。総額の一分が柿野住民協議会へ還元されます。半期(本年四月～十月)までの買い物総額の約一分三〇〇円の事務用品を受け取りました。十一日の買い物ものは是非、マックスバリュ大石店でどうぞ・

● 第三回 健康ウォーキング

実施について

「健康と、ふるさと再発見」を目的に、健康ウォーキングを実施します。住み慣れた、ふるさとを歩いてみると、違った風景と共に、歴史・文化等の宝の再発見ができるかも・是非ご参加をお待ちしています。

☆日 平成二十七年三月八日(日)
 ☆集合時間 八時三十分 出発 九時
 ☆集合場所 柿野小学校
 ☆行先 勢和・名古屋方面
 日が近づきましたら改めて「回覧」します。



本年3月実施の健康ウォーキング



安心見守り隊養成講座

(認知症サポーター養成講座 レベルアップ編)

安心見守り隊とは・・・

安心して暮らせる町づくりのため、認知症又、高齢者の方たちを身近な理解者として見守りをして頂く事です。

☆ 横野地区

日時 平成27年1月21日(水) 午後7時～8時30分
 場所 飯南ふれあいセンター 多目的ホール
 主催 柿野住民協議会 横野支部 環境福祉部会
 内容 講師、羽柴 徹さんをお迎えして認知症についての復習
 安心見守り隊に出来る事としてのお話

☆ 深野地区

日時 平成27年1月28日(水) 午後7時～8時30分
 場所 鍛冶屋瀬集会所
 主催 柿野住民協議会 深野支部 福祉・教育・文化部会
 内容 講師、羽柴 徹さんをお迎えして認知症についての復習
 安心見守り隊に出来る事としてのお話